

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

全国名水百選に選ばれた「黒部川
扇状地湧水群」を世界へ！

(入善町はかの木の名水工場)

No.117

2001年4月27日
(平成13年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善9255
☎0765(72)1100 ㊟0765(72)4711

3月定例会

21世紀初頭の町予算	2
常任委員会レポート	4
一般質問・町政を問う(10議員)	7
町発注工事入札結果表(1月~3月)	19
各種団体・傍聴席からひとこと	20

平成13年度当初予算 重点事業

総額 187億6500万円

3月定例会は、3月6日から23日までの18日間の会期で開かれた。本年度は新世紀の始まりであり、また、新しく策定された新総合計画のスタート年。そして、米澤町政一期目の集大成の年である。こうした節目にあつて、住民ニーズの多様化、行政課題の山積する中で財源難という厳しい状況下での予算となつていく。

予算総額は、一般会計106億3080万円対前年比6・9%の減額であり、外7の特別会計で187億6500万円の大型予算となつた。厳しい財政環境の中で、多額の基金繰入と町債発行等、慎重に審議した結果、全議案を原案どおり可決した。

歳入の特徴

景気の低迷と恒久的減税などで、町税や地方交付税の増収が期待出来ないことから、臨時財政対策債などを旨積もつて財源の確保に努めたが、歳出に見合う歳入の確保が困難なことから基金の繰入を余儀なくされた。

町税は対前年比0・1%減の30億9135万円であり、引き続き厳しい対応を迫られている。

基金の繰入は、財政調整基金3億円、減債基金8億6800万円のほか漁業振興基金などから12億1492万円を取り崩した。

町債は、減税補填債を含め、6億7190万円を計上している。

歳出の概要

限られた財源の中で多様化する住民ニーズに応えるため、行政経費の徹底した節減と合理化が図られた。

特に、昨年引き続き報償費や食糧費の削減並びに、旅費や需用費などの経常経費の見直しを行い、最少の経費で最大の行政効果が上がるよう取り組まれている。

以下、各事業について新総合計画の施策体系6施策について説明する。

いかす

「自然と共に生きるまちづくり」

資源リサイクル推進事業 (1340万円)

無害害まらづくり整備事業 (1807万円)

環境保全対策事業 (380万円)

かんがい排水事業 (6662万円)

海岸防災林造成事業 (910万円)

さわやか漁村海岸整備事業 (2億9513万円)

クリーン入善7129作戦事業 (1973万円)

ごみ収集・運搬処理事業 (8820万円)

美しい自然や、豊かな環境を子々孫々に伝え、健康で文化的な生活環境を守るため、土地利用計画の調査に入る。

ごみ対策については、大量消費、大量廃棄型を見直し、町民一人ひとりが、減量化を実践するよう啓発に努める。

また、限りある資源を守り、自然との共生を図るため、地下水保全条例制定に向けての取り組みと従来からの、治水事業、雪害対策事業を継続して実施する。

やすらぐ

「健やかで安心して暮らしていく」

特別養護老人ホーム建設補助 (1882万円)

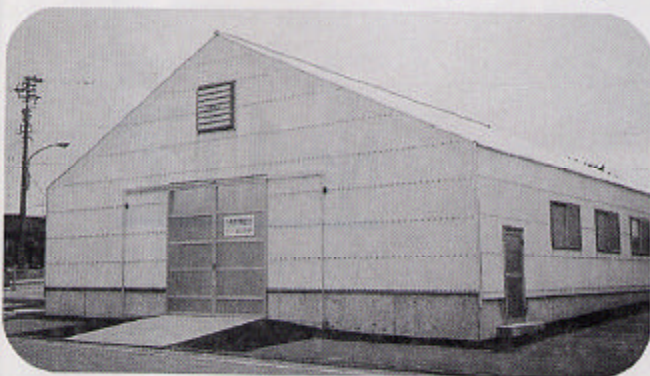
高齢者生きがい対策事業 (3381万円)

栲山保育所建設事業 (2億6388万円)

訪問指導、機能訓練事業 (285万円)
在宅介護支援事業 (6110万円)
介護保険事業 (2億3681万円)
エンゼルプラン策定事業 (207万円)
健康増進事業 (3815万円)
障害者福祉事業 (1億233万円)
幼児医療助成事業 (3011万円)
少子・高齢化対策強化のため、栲山保育所の改築など、保育環境の整備ほか、高齢者生きがいづくりの推進をはじめ、町で2カ所目の特別養護老人ホームを開設して高齢者対策の充実が図られる。

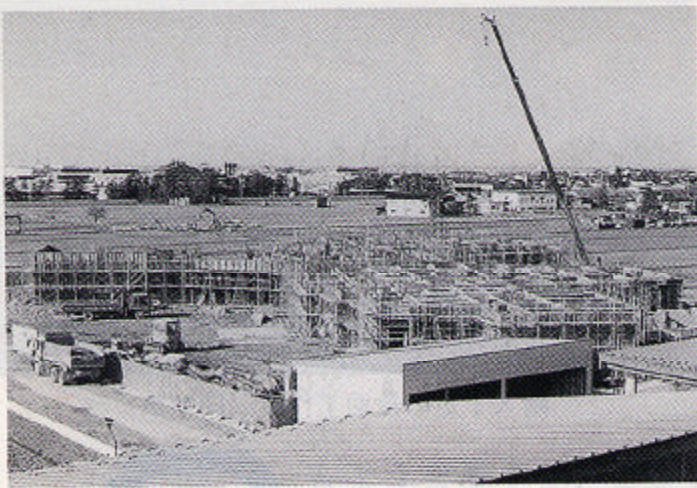
また、昨年スタートした介護保険制度の円滑な運営に努めサービスの確保を図る。

障害者福祉の充実では、おあしす新川でのデイサービスの実施や、知的障害者のためのグループホーム建設の支援など、障害者の社会参加推進に取り組む。



新設された養護施設

21世紀初頭



建設中のおあしす新川特養ホーム

農業情勢が厳しくなる中で、農地の流動化による集積と有効活用を図り、水稻直播きなどの新技術の普及で省力化を進め生産性向上を図る。

いどむ

- 「元気に挑戦する産業づくり」
- 農地流動化・農業公社調査事業 (1021万円)
 - 土地改良事業助成事業 (1億4672万円)
 - 蓄養施設整備事業 (2億447万円)
 - 海洋深層水供給施設等整備事業 (1億6007万円)
 - 海洋深層水活用推進事業 (1183万円)
 - タウンマネージメント計画策定事業 (400万円)
 - 商店街街路灯整備事業 (411万円)
 - 生産調整推進対策事業 (6563万円)
 - 園芸特産振興事業 (1195万円)
 - 県単土地改良整備事業 (5369万円)

まじわる

- 「にぎわい生まれる交流づくり」
- 町営バス運行事業 (1327万円)
 - 商工業振興事業 (3億2199万円)
 - 幹線道路改良舗装事業 (2億8949万円)
 - 中央通り線整備事業 (7575万円)
 - 墓ノ木自然公園整備事業 (2000万円)
 - 公営住宅建設事業 (4億2973万円)
 - 救急救助事業 (6542万円)
 - 舟見簡易水道整備事業 (特別会計1億155万円)
 - 下水道関連事業 (特別会計28億5960万円)

みかく

- 「安全でうるおいのある空 間づくり」
- 安心して暮らすには、安全が第一、町を上げての防火意識の高揚を図り、無火災の町づくりに努める。
 - また、救急・救助体制強化のため、救急救命士の計画的養成と複雑大規模化している災害・災害に対応するため、最新鋭の救助工作車を導入する。
 - 幹線道路・地域交通網の整備促進を図るほか、町営住宅の建て替え、下水道事業の整備など、快適な生活基盤づくりが図られる。
 - 健康交流プラザ情報交流事業 (1422万円)
 - 男女共同参画社会推進事業 (263万円)
 - 国際交流推進事業 (704万円)
 - 桐山公民館新築設計委託料 (1100万円)
 - まちづくり推進事業 (253万円)
 - 観光協会補助金 (216万円)
 - 七夕祭り補助金(入善・舟見) (600万円)
 - イメージアップ入善事業 (216万円)
 - 水博物館構想推進費負担金 (250万円)

みかく

- 「未来に育むひとづくり」
- 各学校の教育環境整備を図ると共に、教育用コンピュータを一人一台体制に増設し、情報化教育の充実に努める。県内初の難聴児童の学級を開設し、障害児教育の充実を図る。
 - 開館15周年を迎える町民会館は記念事業を開催する。発電所美術館では地方文化の発進基地として、魅力ある企画展を開催して、町の文化・芸術を振興する。
 - 町民一人一スポーツを推進するため、陸上競技場改修に向けての取り組みなどの、スポーツ施設の整備を進める。
 - 小学校教育用コンピューター増設事業 (2195万円)
 - 町民カレッジ講座開催費 (129万円)
 - 陸上競技場改修実施設計委託料 (1500万円)
 - 総合体育館管理運営費 (4182万円)
 - じょうへのま遺跡周辺発掘調査費 (特別会計2000万円)
 - 下山芸術の森企画展示事業 (926万円)
 - 町民会館運営、自主事業 (1億237万円)
 - 小・中学校施設維持管理費 (9037万円)
 - 児童管理運営費 (2459万円)

また、救急・救助体制強化のため、救急救命士の計画的養成と複雑大規模化している災害・災害に対応するため、最新鋭の救助工作車を導入する。

また、救急・救助体制強化のため、救急救命士の計画的養成と複雑大規模化している災害・災害に対応するため、最新鋭の救助工作車を導入する。

また、町民だれもが平等に個性や能力を発揮できる、男女共同参画社会の実現のための条件整備を進める。

また、町民だれもが平等に個性や能力を発揮できる、男女共同参画社会の実現のための条件整備を進める。

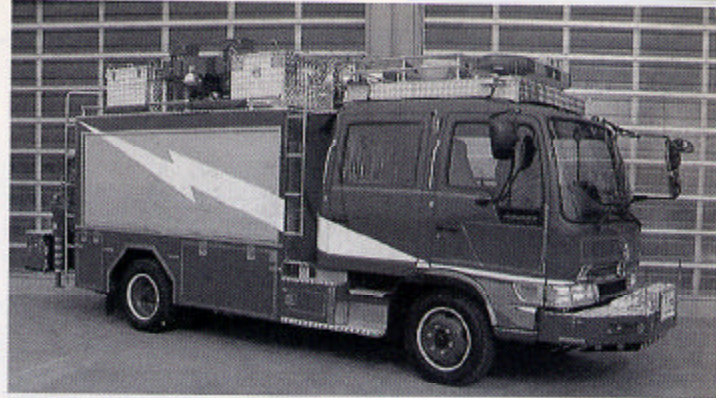
町民一人一スポーツを推進するため、陸上競技場改修に向けての取り組みなどの、スポーツ施設の整備を進める。

町民一人一スポーツを推進するため、陸上競技場改修に向けての取り組みなどの、スポーツ施設の整備を進める。

常任委員会レポート

3月16日・19日・21日の3日間、総務、教育福祉環境、産業経済の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

以下、常任委員会の要旨を報告する。



購入予定の救急工作車（同型車）

総務

厳しい財政状況、なんと
地方交付税5%減額

新年度の歳入予算は、前年度比6・9%の減額である。景気の低迷下で、税収の伸びが期待できず、財政調整基金の取り崩しを余儀なくされ、苦しい地方行政運営であるにもかかわらず、町税に次ぐ有力な一般財源である地方交付税が、景気の落ち込みによる国税の減収や、制度の改正により10%の削減と一方的である。制度改革による不足額5%においては、臨時財政対策債の発行で補填することによって実質5%であるが、町債の増高が懸念される。今後国・県に対し自治体財政の厳しさを訴え、財源を確保するよう強く要望する。

新規救急工作車購入

5833万円

現在ある救急配送車は20年前に購入したもので、救急資機材を搭載していると言えないのが現状である。車両事故、火災、水難事故など救助作業の機械化、人

命救助のスピードアップが求められる今日、新規救急工作車の配置は時宜を得たものと高く評価する。なお、交通事故、救急活動の増加に対処するため救命救急士の増員を図り、町民の生命、財産を守り、安心して暮らせる町づくりに今後も積極的に取り組むよう望むものである。

教育福祉環境

痴呆予防や寝たきり防止策に
本腰をいれるよう要望する

国は介護保険制度の円滑な運営を定着させるため地方財政措置を講ずることにし、その中で高齢者生きがいづくり支援事業が組み込まれている。これは、要介護状態にならないため市町村が行う創意工夫の事業を支援する制度と聞いている。これらが大いに活用し取り組むよう要望する。

エンゼルプランの 策定方法に注文

また、ホームヘルパーが時間ばかり気にしているという批判があるが、そこには介護保険制度の限界があると思われる。利用時間が30分刻み、身体介護と家事援助の厳密な区分など心が

通う介護ができなくなっていることにも起因している。介護保険制度は高齢者福祉の一つにすぎないことを認識し、これからの福祉施策の充実を進めていただきたい。

加をしてもらい、地域の特性や町民の生活態様などに適応した計画を策定するよう要望する。

識改革が求められており、積極的な啓蒙活動の推進を望む。

再生広場の増設に
高く評価する

家電リサイクル法の施行により、家電製品の不法投棄が懸念される。住民の意

再生広場の増設は、ゴミの減量化と資源回収につながるもので評価する。さらに施設を増設し、ゴミの減量化と資源回収に努めるよう要望する。

産業経済

墓ノ木自然公園の整備は名水の町
入善の名を汚さぬ努力をすべき

墓ノ木自然公園の整備については、清流黒部川のイメージで県内外からキャンパーや観光客が多く訪れているが宇奈月町から生活水が排水されていることもあり、放水量を増やすよう再度交渉し、名水の町入善の名を汚さないよう努力すべきである。

特に柵山保育所周辺は、次年度以降に大きな事業を控えており、この点を十分考慮して事業を進めるべきである。

セントラルパーク駐車場の管理については、地代と管理費を含めて補助をしているが駐車場の状況など若干変わってきており、町負担の軽減について検討する必要がある。

植栽工事は慎重に進めよ

緑化推進事業費のうち植栽工事は、旧柵山小学校のシンボルとも言える松があったり、必ずしも全てを植え替えることが最善の事

反対意見

松田 俊弘 議員

入善町の公債比率は、来年度見込み18・2%と近年にない高い値となっている。体育館建設の町債3億円を繰上償還することが一つの要因とも言えるが、これを差し引いても15・4%となり、警戒ラインの15%を超えており、次年度からは健康交流プラザの元利償還が始まることから引き続き

高い公債比率が懸念される。当局は交付税措置がある。後で国から返って来ると言っているが、重税を課して一体どれだけの算入されたか見えないものがない。財源不足の原因は地方税の削減と地方交付税の減取であり、公共事業を地方単独で行わせている部分の増である。

今回の1億円にもほる臨時財政対策債という赤字地方債を認めるわけにはいかない。歳出の旧棚山小学校取り壊しは「初めに取り壊しありき」のかたくな態度であり、旧校舎の保存と活用を求める町民の声に耳を傾けていない。町民全体の論議が欠けており、早期の取り壊しに反対する。海洋深層水の養殖事業は暗模索の実施は危険であり、県水産試験場のアワビ養殖の実験と技術を待ってからも遅くない。

討論

賛成意見

上田 健次 議員

少子高齢化、高度情報化が進展し、新たな社会システムの再編が求められる中、新年度予算が編成された。町税の伸び悩み、多額の公債残高に加え、地方交付税の減額や臨時財政特別債の発行を余儀なくされるなど厳しい財政状況下でありながら新総合計画に基づき、町民に密着した事業に重点配分した予算であり高く評

価する。

自主財源は58億8884万円と横ばいで依存財源は55億4196万円の微減となっているが、公債残高に常に留意して義務的経費の増高を抑制し、財政の硬直化を招かないよう町民の信頼に応えていただきたい。

海洋深層水事業は入善町の一大事業であり、イメージアップ活性化に大きく弾みがつくものと期待する。

町の基幹産業である農

業は重要課題であり、農業公社設立の調査に入る件は時宜を得ており一日も早く設立すべきと考え

る。地下水保全条例の制定や環境基本計画は早期の実施を期待する。5833万円の高額な救助工作車導入に決断されたことを高く評価する。行政の停滞は絶対許されぬ。全議案を可決し、議会と当局が一体となって町民の負担に代えていくべきである。

大橋美椰子 議員

21世紀の最重要課題は「循環型社会形成」にある。今次予算で建物取壊工事費4600万円が計上。雨漏りさえしなければ、まだ100年は持つと言われている旧棚山小学校2600万円、プール600万円、築30年の健康センター400万円、これらをゴミの山とする為に、取壊費として莫大な予算が計上されている。

特に旧棚山小学校の木造校舎については、全国いたる所で実施されている「町全体が古い物をきちんと評価しよう」という気風を我が町で育てるためにも、親・子・孫と共に学んだ共通の思い出を共用できるこの校舎で「生きた財産」として慈しみ育てることを望むものである。町長は「私達の祖先が遺した数々の伝統文化を保存する」と言われているので、木造校舎を文化財として残すの

も、この言葉にあてはまる。低送する経済状況の中でも福祉に関しては、国や県は大幅な補助制度を実施している。町に対して福祉の事業拡大をお願いしても予算が無いと受理されない。取り壊し費に莫大な予算を計上する必要が今、どこにあるのか。再検討し「福祉の向上を旨とす」と言う、町長の実行力を示された

みなさんの請願

陳情のゆくえ

請願

- 町道横山長島線改良に関する請願……………採択
- KSD疑惑の真相解明のための証人喚問を求める請願……………継続審査
- 森首相の即時辞任を求める請願……………継続審査

陳情

- 「消費税の増税に反対し、食料品の非課税を求める」……………継続審査
- 「消費税について」……………継続審査
- 「高齢者及び障害者の雇用促進を求める」……………採択
- 「高齢者及び障害者の雇用促進を求める」……………採択

議員提出議案

- 高齢者及び障害者の雇用促進を求める意見書……………可決
- 「高齢者及び障害者の雇用促進を求める意見書」……………可決

3月議会でこんな議案も決まりました

南部コミュニティセンターに隣接して建設した郷土芸能練習場を設置するための入善町郷土芸能練習場条例が新たに制定された。また舟見中学校が組合立から町立中学校に変わることから、入善町立小中学校設置条例など、7つの条例の一部改正され、入善町社会福祉基金条例など2つの条例が廃止された。

入善町郷土芸能練習場条例

生活に根ざした文化活動の場を提供することにより、町民にうるおいと心豊かな生活の向上を目的として建設された練習場の使用料や利用者の使用申し込み方法及び使用上の注意事項などを決めている。

この建物は、防音と空調設備が完備しており、大きな音がでるため、練習場がないという悩みを抱えていた和太鼓のグループのほか音楽サークルやカラオケサークルなども利用することができる。

施設利用料

- 練習場
 - ・ 午前9時～正午まで 3,000円
 - ・ 正午～午後5時まで 5,000円
 - ・ 午後5時～午後10時まで 5,000円
 - ・ 午前9時～午後10時まで 9,000円
 - 保管庫
 - 一室 月額 3,000円
- 町民が利用するときは、施設利用料が免除される。ただし、冷暖房を使用した場合は、施設利用料の30%相当の金額が別に必要である。

入善町立小中学校設置条例

4月1日から組合立舟見中学校が入善町立舟見中学校になった。

入善町廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例

し尿の収集運搬料金が改定された。
20とあたりの収集運搬料

金がかこれまでより、2・2円引き上げられ、4月1日から118・6円になる。

入善町保育所条例

入所希望者が多かった青木保育所の定員を60人から70人に改正し、入所希望者の要望に応えた。
また、平日の閉所時間をすべての保育所で午後6時まで延長するなど保育体制の充実を図った。

このほか一部改正された条例

- ・ 入善町一般職の職員等の特殊勤務手当に関する条例
- ・ 入善町勤労者福祉センター条例
- ・ 入善町下水道基金条例
- ・ 入善町簡易水道事業の設置等に関する条例

平成12年度入善町一般会計補正予算

14億754万円を追加し、総額119億3318万円とした。

人事の同意について

固定資産評価
審査委員に
南保 満氏
の再任に同意した。



愛称「ちろろ」

一般質問

第32回 定例会



「こ」が聞きたい・・・

町政を問う

10人の議員が登壇

3月議会の一般質問は、13日・14日の2日間おこなわれ、10人の議員が質問した。

市町村合併や新総合計画、実施年度における21世紀新予算の基本方針、町興しにつなげる海洋深層水事業、土地利用計画と交通網対策等、多くの傍聴者を前に、激論が交わされた。

主な内容は次のとおりである。

(注)一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 集落営農組合の設立指導について
- 海洋深層水の関連企業の誘致について
- 黒部ルートの解放と立山、黒部峡谷の世界遺産登録に対する考え方について
- 21世紀を展望する土地利用計画と交通体系の考え方について
- 平成13年度予算編成の基本理念について
- 未就学児医療費の窓口無料について
- 市町村合併について
- 総合交通体系の整備について
- 宇奈月・舟川ダムについて
- 介護予防・生活支援事業という国庫補助事業について

座して死を待つ農業を救うのは 集落営農だけ

長谷友義 議員

町長

集落営農組合の組織化が大切であると認識



人気の高い入善産米「つぶぞろい」

問 ここ数年、米価の値下がりで所得の大幅な減収で生産者は瀕死の状況である。生き残る対策として集落営農の指導をすべきである。
米澤町長 最近の米価の低迷は農業経営を圧迫し、意欲ある担い手の確保に大きな障害となっている。さらに農業従事者の高齢化や、後継者不足など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況である。このような状況のなか、今後とも活力ある農業を推進するため、農地の流動化を促進し、大規模農家、あるいは集落営農組合による農業を推進することが急務である。また収益

性の高い作物栽培や有機、減農薬栽培など、環境に配慮した農業所得の向上につながり、魅力ある農業を目指すことが必要と考える。低コスト農業の実践については、集落営農組合の組織化が特に大切であると認識しており、県の補助事業の有効活用を図り、リーダーの発掘等に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

県東部で検出された
カドミウム汚染米
対策は

問 昨年10月に県東部の魚津市、朝日町にカドミウム

汚染米が検出されたと報道されたが、対岸の火事ではなく、打開策を検討すべきではないか。

町長 昨年10月に食糧庁が2000年産米のカドミウムに関する調査を生産者の了解を得て実施したところである。その結果、流通禁止基準の0.4PPMを超える汚染米が全国で検出されたところである。その原因は明らかでないが、その年の気象条件や水管理の変化により、土壌にある微量のカドミウムを稲が吸い上げたためと思われる。ご指摘のとおり汚染米が出たら、富山米のイメージダウン

ンは必定である。県の関係機関の指導を受け、またJA入善町と相談しながら、ケイ酸石灰などの土壌改良資材の散布や、米の成熟期の水の管理を図るなど、営農指導の強化に努めていきたいと思っている。

海洋深層水の関連企業を どのような手順で誘致するのか

本多 幸男 議員

町長

「入善町企業誘致促進協議会」 を発足する

問 栢山地区の皆さんが要望している「地区交流センター」と栢山保育所の新築、改築は議会も賛成している。町有財産の旧栢山小学校舎を取り壊す理由は何か。町民の生涯学習の拠点として活用する価値がないか、専門家の鑑定を受けるべきと思うがどうか。

町長 旧栢山小学校の活用について協議を重ねてきたが結論として、新年度早々に解体したい。地元としては公民館が老朽化していることや保育所改築など要望があり、旧校舎を取り壊し、周辺の一体整備を図り、地区の中核ゾーンとして位置

づけたいとの文書要請を受け、町も地元の意向を尊重し、方針を決めた。

有識者等による存続の検討は事業計画上なじまない。

問 ふれあい交流プラザ「サンウェル」は建物の目玉とも言える沐浴観望を削って所期の目的を果せるのか。また、事業全般を見て問題点はないか。

木本助役 昨年8月オープン以来7カ月で約4万人、1カ月平均57000人の方が利用され好評である。健康、福祉、研修、情報の拠点として多角的に運営したい。

なお、沐浴施設については深層水活用事業のウエル

ネス構想の中で整備する。

海洋深層水事業に 過大な支出が 計画されていないか

問 深層水事業は夢のある事業だからと言って当初の計画から外れた野方図な支出は許されない。現在まで使った事業費とこれからの町の支出金額を示されたい。

大角農業水産課長 取水施設に8億6700万円、蓄養施設に4800万円、ソフト事業として基本計画策定、フォーラムやアビール活動、測量・水質調査などに2600万円、計9億4

100万円執行、または予算化した。事業費全体の支出見込み額は11億7000万円、国・県補助金7億1700万円を除く町の財源は4億5300万円である。

問 漁協の合併について町はどのように指導支援しているか。また漁協が経営する養殖事業に町は今後どの範囲まで支援を考えているか。

町長 3月中旬に合併仮契約締結、5月中旬の新漁協設立に向けて詰めがなされており、町としても漁業経営の安定に取り組む。

養殖事業への町の支援については、養殖事業用地の取得・造成工事や施設整備に対する助成を行う。

問 非水産部門の企業をどのような手順で誘致するのか。また海洋深層水課長を単独で配置する考えはないか。

町長 新たに国・県や関係機関の方々とメンバーとする「入善町企業誘致促進協議会」を発足させたい。

なお、本事業のより一層推進のため、兼務であった課長を新年度から専任体制とし、スタッフの充実に努めたい。



夢をたくす深層水取水工事

市町村合併についての見解を問う

五十里 隆章 議員

町長

自らの問題として検討 議論を進める

みんなの将来のために
市町村のことを考えてみよう!

市町村合併って?

自治省

問 今日の交通網の発達、通信情報手段の進歩など、住民の行動圏が広域化している。まして単一市町では対応が困難な問題も多い。今後の住民ニーズ、新たな行政サービスに対応するためには広域的市町村合併が求められると考えるが。

町長 現在の行政サービスを維持し、種々な行政課題に対応するには、関係市町の間で政策調整が必要である。財源問題を始めとして単一市町では限界がある。真剣に議論すべき段階に来ている。

仮に新川広域圏域で合併した場合、平成17年3月までの時限立法では優遇措置がある。

合併特例債として10年間で613億5000万円。行政の一体化、住民負担水準の格差是正の経費が5年間で13億8000万円（臨時的経費）。公共料金の格差是正、3年間に11億3000万円。合併補助金2億3000万円などがある。

住民の声を施策に反映するため地域審議会制度、住民発議制度が拡充される。

合併について住民が議論できるよう情報提供に努め、アンケート調査など実施したい。

問 国、地方の財政は危機的状況にある。地方財政計画と今後の地方交付税の推移をどのように把握しているか。

林財政課長 国の地方財政計画では公債費負担の増加、経常収支比率の上昇など財政状況が厳しいとし、行政改革も求めている。また臨時財政対策債の発行など地方に負担を求めている。

このことから入善町のような小規模団体では将来、現状の町民サービスが維持できなくなる。

問 黒部ルートの開放、立山黒部の世界遺産登録にどのように対処されるか。

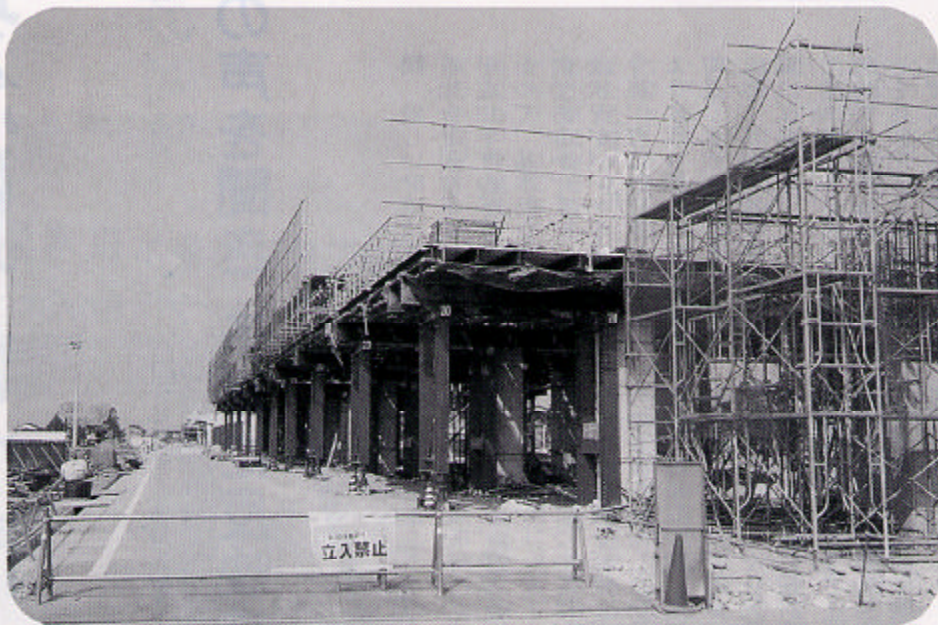
町長 海洋深層水、沢スギなど入善町の地域資源活用のキーワードと考えている。新川地区全体の問題として県など関係機関に対して積極的に働きかけていきたい。

黒部市の新幹線新駅への アクセス道路をどう考えるか

広瀬 喜代志 議員

町長

ルート沿いに魚津～朝日間の 広域農道整備を調査中



新幹線工事風景

問 北陸新幹線駅までのアクセス道路や主要5路線など交通体系の整備はどうか。

町長 8号バイパスや新幹線建設に伴うアクセス道路の整備をはじめ、入善町幹線道路整備計画に基づく幹線5路線を優先的に整備したい。

松島建設課長 海洋深層水現場の道路環境も平曾川国道線を中心として整備したい。

土地利用計画が町の発展を左右する

問 21世紀を展望する土地利用計画の考えを問う。

町長 新総合計画に準じて、入善町の特性を踏まえながらゾーニングの設定を図り、各ゾーンごとの特徴ある土地利用を展開したいと考え、13年度から土地の現況調査、用途別の土地需要量の推計、企業、商工、農業団体などの意向調査を行い、出来るだけ早い時期に土地利用計画を作成したい。

地方分権推進に

民間人の登用を

問 地方分権をどのような視点で捉えているか。

町長 自己決定、自己責任、個性豊かな地域社会の創造の問題は、最も重要な視点であると捉えている。地方自治体にとって、今一番求められていることは、これからの地域間競争に生き残ることである。

民間人の登用であるが、これからの行政運営は「住民と行政の協働」の精神のもとに、パートナーシップを確立し、互いの役割分担を明確にし工場誘致のような特例事項的なものを協力いただきたい。身分等は今後、専門委員ということも検討したい。

簡素で効率的な組織

問 中央省庁の再編による機構をいかに進めるか。

鬼原総務課長 町としての機構改革は、その時々々の住民ニーズや政策課題の要請に応じたものであるべきと考えている。

一方で行政改革の視点からも、簡素で効率的な組織、あるいは住民サイドに立った分かりやすい組織、また少ない人員で集中的な仕事ができるようにしたい。

平成13年度予算編成の 基本理念について問う

谷口一男 議員

町長

町民の声を聞き 予算に反映する



町のたから

問 厳しい財政状況の中、新総合計画初年度に当たる平成13年度の予算編成に当たって、基本的な考え方は何であるか。また、国の財政状況がパンク寸前の中で今後、町は財政運営をどのように取り組んでいくのか。

町長 毎回心がけていることは、町民の声を聞き、予算に反映する。

今後のまちづくりの基本理念であるエコネットタウンを具体化させる最初の子算である。このため、環境保全、地域資源活用、情報化推進、住民参加のまちづくり、4つのリーディングプロジェクトと、自然

とともに生きるまちづくりをはじめとした6つの基本目標をもとに、予算配分をおこなった。

財政運営については、国への依存体質を転換し、まちの資源を利用した企業誘致による税収の増、民間委託などによる経費節減、さらなる行政改革や住民負担のあり方も早急に検討する必要がある。また、市町村合併も近い将来のものとしてとらえ、真剣に議論してまいりたい。

もちろん、公債費の増加を招かないよう、起債の活用や償還、基金の有効活用を図ることも健全な財政運

営に必要なことと考えている。

旧栢山小学校の

解体は6月半ば頃に

終了させたい

問 予算案の中に、栢山保育所改築工事費、栢山公民館基本実施設計委託料、旧栢山小学校を含む既存建物取り壊し工事費が組み込まれている。

今後のスケジュールはどうなっているのか。

大木企画広報課長 解体スケジュールは、新年度4月早々に取り壊しの工事発注を行い、6月の半ば頃には

解体を終了させたい。

また、地元の方で、お別れ会などといったイベントなども計画されておいでのようなので、解体に合わせ、さらに連絡を密にとりながら、支障のないようなスケジュールで取り組んでまいりたい。

未就学児の医療費は 窓口無料に

九里郁子議員

町長

7月から実施したい



元気いっぱい入善っ子

問 未就学児の医療費助成は、現在、町では親が一旦窓口で立て替え払いをし、後日、町の窓口で手続きする償還払い方式である。子育て支援の一環として、窓口無料化にすべきである。
町長 本年7月から窓口無料化の実施を考えている。

予定価格を事前公表する考えはないか

問 昨春秋、町が実施した指名停止措置は適切だったと考えているか。予定価格を事前公表する考えはないか

か。4月から実施の「公共

工事の入札・契約適正化促進法」を受け、優良工事施工業者を試験的に一ランク上位の入札に参加させるなど、業者の技術向上と健全育成を図る考えはないか。
助役 指名停止措置は適正であると確信している。予定価格の事前公表は慎重に取り組んでいきたい。優良工事施工業者には、指名回数を増やすなどしている。

低所得者に負担重い介護保険

問 現在半額の介護保険料が、10月からは全額徴収になる。年金から天引きされない普通徴収のなかには、保険料が未納の方がいる。未納になると、一担利用料全額を払わなければならないなど、厳しい制限を受けることになる。本来、住民税を納めなくてもいい第3段階までは無料であるべきである。
広域化したことで、町は高齢者の実態把握が希薄になっていないか。保険組合は4月から在宅介護サービス全部を対象に低所得者の

利用料を5%補助することにした。自立と判定された方は、必要な介護サービスを受けているか。自立と判定された低所得の利用者にも、町が5%分を補助する考えはないか。

寺西健康福祉課長 今後、組合と連携を密にし、高齢者福祉が後退しないよう取り組みたい。自立と認定された方にも必要に応じて在宅サービスを行っており、利用料は本人負担10%とし、町が90%分を補助している。低所得者の対策は、介護保険組合で協議していきたい。

在来線はJR直営を要求すべき

問 並行在来線は、JR直営を要求すべきである。県は新幹線建設に伴う町の負担はないと言っているが相違ないか。

町長 新幹線開業時にJRから経営分離されること、沿線市町の同意を得ることとなっている。県は責任をもって在来線存続を図るとしている。新幹線建設に伴う町の負担はない。

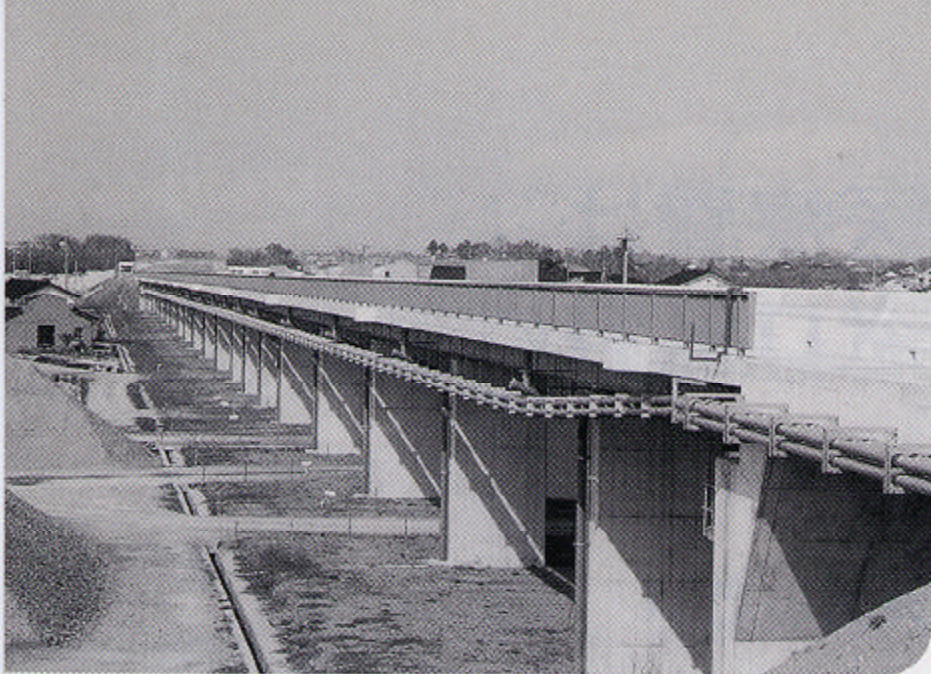
どうなる市町村合併

町民に情報提供を

松沢孝浩 議員

町長

町民に十分な情報を公開した上で議論していきたい



14年3月供用開始予定の8号バイパス

問 市町村合併に対する町長の取り組み姿勢を問う。
町長 2月14日に県広域行政等研究会において、クラスタ分析と住民アンケートの結果などを踏まえて、県内35市町村の合併パターンが示された。市町村合併については、市町村自らが住民の意向を的確に踏まえ、自主的に進めていくことが基本原則である。今回の合併パターンは今後、住民や市町村、関係機関などが具体的な議論を行う際の参考として作成されたものであり、議論のたたき台である。これまで、議論を進めようにもその材料がなく、今回のたたき台は、検討資

料ができたことにより合併のメリット、デメリットをはじめ、住民に十分な情報を公開した上で議論していきたい。

問 現在、新川青年会議所や商工会同友会において、市町村合併についての議論が巻き起こり、避けては通れない重大な問題として提唱している。各種団体で議論が巻き起こるなか、町として、今後どのような支援を考えているか。
総務課長 町からも進んで情報の提供に努めていくやり方が、一番適切かつ妥当な方法である。
問 昨年9月に政策フォーラム34が一斉質問を行った

際、小杉町は、いち早く広報で市町村合併についての情報提供を行った。

町民への情報提供が最も必要だと考えるが、広報や特殊な企画はないのか問う。
総務課長 広報による情報の提供はもちろん、出前講座などでも対応を行う。ある程度の議論が進めば、住民アンケートによる町民の皆さんの実態把握等、段階的に進めていく。
問 8号バイパスの今後の計画と現況、供用開始について尋ねる。
建設課長 8号バイパスは、狛山から魚津市江口までの間を整備し、交通渋滞の解消や幹線ネットワークの充

実強化、地域開発を目的に平成2年度に事業化された。現在、平成14年早々を目

標に、平曾川国道線から黒部市古御堂地内の県道若栗線までの間の海側、2車線を暫定供用開始にむけ、急ピッチで工事が進んでいる。平成13年には東狐、青木の宅地や物件移転について、また、上原において設計協議完了後、用地買収を行う予定である。
上原の現道までの供用開始は、平成20年前後を目標に事業が進められている。

並行在来線の経営分離は 問題が多い

東 狐 和 議 員

町長

県が責任を持って 在来線の存続を図る



町の玄関入善駅

問 北陸新幹線に伴う並行在来線は確保されるのか。
町長 昨年12月に北陸新幹線はフル規格で富山まで整備することが決定され、着工される区間の並行在来線

は開業時にJＲの経営から分離される。この対応については県が責任をもって並行在来線の存続を図る方針だ。
問 三セクの運営は地元が

赤字を背負うことにならないか。

町長 経営収支の見直しは県東部だけを三セク化した場合、開業10年目でも黒字に転換しないとの事だが、県内全域の区間を三セク化すれば開業4年目に黒字に転換し安定的経営が見込まれる。

問 新黒部駅へのアクセス道路の整備をどうするか。

町長 主要地方道、黒部朝日公園線を整備中で平成14年度の供用開始を目指している。入善宇奈月線については拡幅改良計画が県から新屋地区に説明された。新幹線沿いに魚津・朝日区間を広域農道整備等、広域交通体系の早期確立に積極的に働きかける。

高齢者福祉の推進

問 サンウエルへのリハビリ療養者のバス路線の見直しをしたらどうか。

鍋谷保健情報室長 現在リハビリ者68名で4月から理学療法士を配置。バス路線は大変不便なため、平成14年度にバス1台増車する。マイクロスズで試験運行して、利用者の要望に応えられるよう努力する。

問 痴呆予防対策はどうなっているか。

保健情報室長 高齢化が進み介護予防の推進が一層必要となる。痴呆予防教室事業に取り組み、また公民館等で高齢者が楽しく寄り合う場づくりを推進していきたい。

問 ブラックバスの駆除を望む。

大沼住民環境課長 園家山湧水池に生息しており、自然生態が損なわれるなら早速駆除し、ブラックバス放流禁止について広報などで指導していきたい。

問 各学校にスクールカウ

米島教育長 中学生が不安や悩み等を気軽に相談できるように、正規の教員以外に相談員を配置し、県の委託を受け、3中学校で空教室を利用して開設している。

問 町特産品「水笑楽」はどうなったのか。

飛田商工観光課長 J A 人善町の協力で酒米360俵(4ha)栽培し、「水笑楽」を委託醸造していたが、商標権問題が表面化し、中止せざるをえなかった。清酒「入善」はNPOの組織でされ、町の補助金は、一切出してない。

宇奈月・舟川ダムの建設費の

町の負担はいくらか

松田俊弘 議員

町長

舟川ダムは町が0.1%

宇奈月ダムは今後の協議で決まる



何回も視察しダム問題を考える

問 当初500億円の予算だった宇奈月ダムに1700億円以上もつき込まれた。無駄な公共事業の一例である。

答 宇奈月ダム建設費の上水道利用分について、県が町に求めている負担額はいくらか。また、ダムによる上水道の利用計画の見直しはどうか。

本多下水道課長 案は出されたが、まだ発表できる段階にない。いずれは決定される。

問 91億円で建設予定の舟川ダムの町や住民負担はどうか。

答 また、舟川ダムの完成は早くても10年後であり、そ

の間舟見7、8区には消雪装置ができない。ひばり野小学校建設時に掘った井戸では十分な地下水が確認されている。調査をすべきた。

を求める」などの意見書についてどう思うか。

国の失政から 農業を守れ

問 政府の農業予算は5割以上を疎早湾の干拓事業などの土木事業に当てており、価格保障にまわす割合は1割にも満たない。

町長は、当議会が決議した「自主流通米の値幅制限を復活し、米の輸入の削減

リスクの大きい 養殖・畜養事業

問 新しい蓄養施設の大型水槽では、一部の魚が死ぬば全体が汚染されるなどの技術的困難があり、このままでは利用者はいない。

一定期間、無償での研究利用を認めてはどうか。

錯誤も予想されるので試行利用については漁協と協議する。

問 深層水を使った養殖事業は日本で初めてであり、リスクが大きく反対する漁民も少なくない。

事業主体を合併漁協にこだわらず、賛同者による別の事業組合の方法も考えるべきである。

助役 制度上合併漁協以外でも可能であるが、合併漁協で「つくる漁業」の振興を願っている。養殖は必ずしも平易でないことを考慮し、水産試験場などとも連携をとっていく。

研修視察記

議会広報編集特別委員会

2月15日、16日の2日間、新潟県の分水町と聖籠町を視察研修した。2町は県内や全国町村議会報コンク



盛り上がった意見交換

意を払っている。表紙も、「ちょっと開いてみてください」といった感じで全体がソフトである。入善町議会だよりもソフトな紙面づくりにも傾注すべきとの思いを新たに分水町を後にした。

聖籠町は新潟市に近く、高速道路やバイパスなど道路網が整備され、インターネットエンジが4カ所もあり、110社を超える企業が進出、年々人口が増えている。

議会報の特徴は、100%議員の手づくりである。編集作業も各委員が分担し、各自、夜なべをしているとのこと。編集委員が広報にかける意気込みを感じた。

特に写真やレイアウトに力を入れ、表紙は毎回カラーで、主に子ども達など人物を中心としたものが多い。記事は読む人にインパクトを与えるように工夫され、字数を少なくし、絞り込んだ編集方針は感心するばかりである。

聖籠町議会広報編集委員会では、住民にわかりやすい広報紙をいかに提供するか苦心の連続であると聞かされ、その苦心の跡が伺え、自分達も一層研鑽に努めなければと心新たにされた。

下水道対策

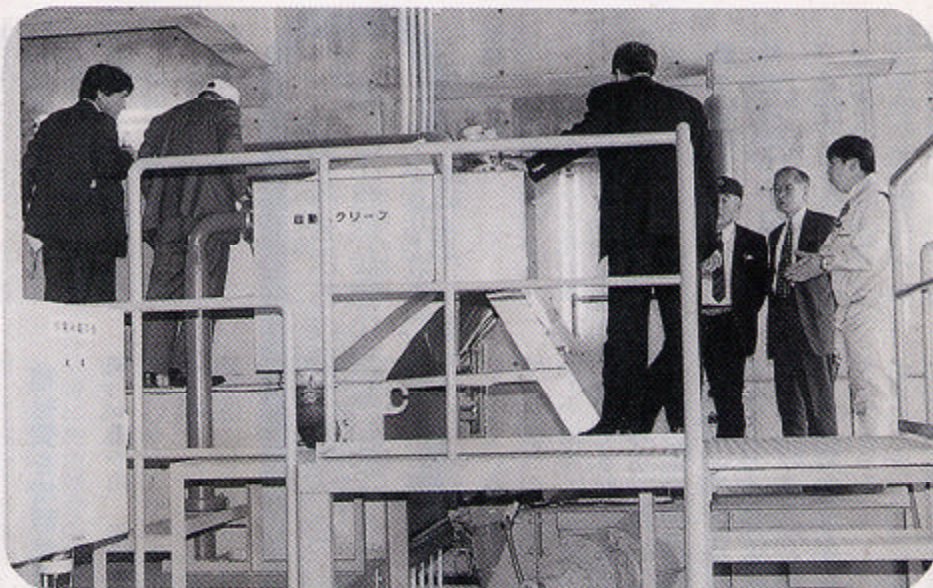
特別委員会

下水道対策特別委員会は3月28日、長野県丸子町を視察した。

丸子町は松本市の東に隣接し、山間地が80%を占め人家は、少ない平坦地に集中している。人口約2万5400人。3つの温泉からなる丸子温泉郷には、年間30万人の観光客が訪れている。

丸子町の特定環境公共下水道(特環)は昭和55年、公共下水道(公共)は平成5年から整備が進められている。他に3つの農業集落排水事業も並行して行われている。これらの終末処理場には、最近開発され、入善町も導入した多重量円板外胴型スクリーンプレス脱水機(バルート脱水機)が設置され、稼働している。

処理場内では少し臭いはあるが、建物の外ではあまり感じられなかった。脱水後の汚泥の最終処理は業者に委託し、焼却、埋め立て、コンポスト、コンクリート原料への再利用を行っているが、焼却と埋め立てが中心である。



バルート脱水機の説明を聞く

入善町の公共下水道では、最終的には脱水後の汚泥が1日に約10トン排出される。処理単価は未定だが、丸子町の例で試算すると1日20万円、年間では7000万円を超えることになり大きな負担となる。小摺戸農排では乾燥機を導入して重量

を4分の1程度に抑えるとのことであるが、公共下水道については目下検討中である。コストバランスを考えた上での重量の軽減と、環境に負担をかけない処理方法の検討及び技術開発が望まれるところである。

1月から
3月まで

町発注工事入札結果表

(工事費 500万円以上)

(単位：千円)

工 事 名	請負金額	予定価格	落札率(%)	入札回数	落 札 業 者	備 考
一 般 工 事						
東町町営住宅建替事業第1期A棟新築電気設備工事	26,000	27,082	96.0	1	(有)長島電気工事	
東町町営住宅建替事業第1期A棟新築給排水工事	23,950	29,947	80.0	1	(有)上田管工事工業所	制限価格以下1
東町町営住宅建替事業第1期A棟新築建築主体工事	167,000	204,415	81.7	1	桜井建設㈱	
高島線報徳外4路線舗装工事	7,400	7,632	97.0	2	小川建設工業㈱	
県単農業農村整備事業墓ノ木地区道路改良工事	8,360	8,479	98.6	1	(有)橋本工業	
東町町営住宅建替事業第1期給水設備工事	11,100	13,844	80.2	1	(有)上田管工事工業所	
東町町営住宅建替事業第1期A棟新築外構付帯工事	9,350	9,761	95.8	1	桜井建設㈱	
入善町舟見簡易水道事業測量・設計業務委託	7,500	7,937	94.5	1	日本水工設計㈱	
神林入善中学校線改良その2工事	7,850	7,942	98.8	1	㈱五十里工務所	
日吉青島上田線改良工事	9,500	9,606	98.9	1	㈱大豊建設	
下山島バス停線道路改良工事	7,700	7,728	99.6	2	古原建設㈱	
小摺戸若栗新線改良工事	9,280	9,381	98.9	1	福沢建設㈱	
裏上飯野臼森線改良その2工事	7,090	7,278	97.4	1	小田建設㈱	
上原上村国道線舗装工事	10,300	10,864	94.8	1	此川建設㈱	
海洋深層水供給施設敷地造成工事	17,800	18,465	96.4	1	本田建設㈱	
平曾川国道線舗装その2工事	16,400	16,599	98.8	1	桜井建設㈱	
黒東小学校下水道対応工事	6,200	6,459	96.0	1	(有)上田管工事工業所	
入善漁港改修その1工事	28,100	35,056	80.2	1	㈱杉沢組	制限価格以下1
計	380,880	438,475	86.9			
特 定 環 境 下 水						
入善西部処理分区 第30工区工事	18,500	18,807	98.4	1	本田建設㈱	
入善西部処理分区 第31工区工事	16,900	17,410	97.1	1	(有)高沢組	
マンホールポンプ設備工事	38,470	39,422	97.6	1	藤田工業㈱	
入善西部処理分区 第32工区工事	25,700	31,967	80.4	1	㈱杉沢組	制限価格以下1
入善処理分区 第106工区工事	31,800	32,267	98.6	1	㈱飯作組	
入善西部処理分区 第33工区工事	14,300	14,539	98.4	1	上島建設工業㈱	
計	145,670	154,412	94.3			
農 業 集 落 排 水						
小摺戸地区管路工事第1-36工区工事	26,000	26,453	98.3	1	(有)水野建設	
県道黒部朝日公園線外2路線舗装本復旧工事	13,000	13,480	96.4	1	共和土木㈱	
新屋地区管路工事第1工区工事	33,900	41,538	81.6	1	黒隆工業㈱	
新屋地区管路工事第3工区工事	34,400	42,890	80.2	1	㈱内島組	制限価格以下1
新屋地区管路工事第5工区工事	30,200	37,597	80.3	1	高田建設㈱	制限価格以下2
新屋地区管路工事第2工区工事	26,000	26,438	98.3	1	稲村組	
新屋地区管路工事第4工区工事	24,400	25,174	96.9	1	大勝建設㈱	
新屋地区管路工事第6工区工事	27,000	27,216	99.2	1	㈱白又組	
計	214,900	240,786	89.2			
公 共 下 水 道						
入善処理分区第103工区工事	29,000	33,278	87.1	1	㈱中山組	
入善処理分区第104工区工事	30,000	31,385	95.6	1	池原建設㈱	
入善処理分区第105工区工事	33,900	42,322	80.1	1	笹島建設㈱	
入善処理分区第102工区工事	24,300	24,649	98.6	1	竹田建設	
入善浄化センター場内整備その3工事	16,300	16,618	98.1	1	五十里建設	
入善処理分区第107工区工事	12,100	12,556	96.4	1	井田建設	
入善浄化センター場内整備その4工事	17,200	17,449	98.6	2	(有)愛場農園造園土木	
入善浄化センター場内整備その5工事	19,500	19,969	97.7	2	泉松園	随契
入善処理分区第108工区工事	16,200	16,627	97.4	1	(有)宝泉工務店	
町道入善駅国道線外1路線舗装本復旧工事	10,800	11,104	97.3	1	広川建設工業㈱	
下水道管理高度情報化設備その1工事	31,200	31,356	99.5	1	日本電気システム建設㈱	
下水道管理高度情報化設備その2工事	34,800	34,854	99.8	1	日本電気システム建設㈱	
計	275,300	292,187	94.2			
合 計	1,016,750	1,125,840	90.3			

各種団体からひとこと



元気いっぱい高齢者の集い

民謡・歌謡友の会

会長 目 澤 竹 松

入善町一円から高齢者の踊り好きな人や、カラオケ愛好者の人達、それを見て楽しむ人達の集いが、民謡・歌謡友の会であります。会員は200名でカラオケ教室が毎週水曜日、民謡教室は第1・第3日曜日に活動しています。練習は主に大広間の舞台上で練習していますが、空いていないときは小部屋で汗を流して楽しんでいます。

毎週と言ってもいいほど日曜日には午前9時30分～午後3時30分頃まで大広間いっぱいのお客様を相手に、会員の踊りからカラオケでの歌や機械

操作等をして楽しいひとときにと、思い出をつくらせていただきたいと念じながら一丸となって頑張っています。

高齢化が進む今日、家の中に閉じこもっている、運動不足からストレスがたまり老化が進むと仄聞しています。

私たちは「元気な寝たきりにならない高齢者」でありたいとの思いから、特別行事として、年間会費で2泊3日の温泉ツアー2回、シルバードンズ教室の開催での他団体との交流等、若者に負けないくらい今後も元気いっぱい活動していきます。

利用度の高い老人福祉センター利用者の悩みを一言述べます。利用者も多く手狭の感があります。が、肩を寄せ合いながら利用させていただきました。が、人気の高いカラオケの機械が古くいつも故障して困っています。私たちの住む町入善は、高齢者福祉社会の実現に力を注いでいただき感謝していますが、高齢者の切なる思いを、お聞きください。お願いしますようお願い申し上げます。

傍聴席からひとこと



舟 根 努
(小摺戸)

昨年勤めをやめ、時間的に多少ゆとりができたのと、予算議会と言うこともあって入善町議会を傍聴しました。何分はじめて足を運ぶ場所であり、少なからず緊張感を覚えながらもどんな質問が展開されるか期待感にも似た気持ちで傍聴席に着きました。傍聴席を含めた議場は、重圧で厳粛な中にも親しみやすい雰囲気を感じました。私は、三人の議員の質問とこれに対する当局の答弁を傍聴しましたが、各議員は、良く勉強しておられると思いました。より一層の充実が求められる介護・福祉対策、環境と教育問題、海洋深層水と漁業振興等について、町民の意見、要望を踏まえた議員自らの活動を通じた中から質問されているように見受けました。

一方、当局の答弁も親切、丁寧で、福祉バスの運行改善、トラックバスの駆除方法、漁協の合併スケジュール等について具体的に明らかにされたのは良かったと思います。ただ、答弁が絵で長く、また、質問に対し多かれ少なかれあるものが見受けられたのが残念であり、わかりやすい言葉で簡潔明瞭にしていただければもっと良かったと思います。また、入善町の基幹産業、農業は大変厳しい状況下にあります。ミニマム・アクセス米と称して外国から輸入、そのことにより米余り、大幅減反、価格の下落等、希望の持てない農業になっている今日、町議会に於いて多くの質問があっても良いのではと感じます。今後、農業のあり方に議論を深め、農政施策に真剣に取り組んでいただきたいと切望します。

編集の窓

☆21世紀が幕開け、新たな事業年度がスタートした。
森首相は、丸一年で退陣する意向を正式に表明する事態になった。

政府・与党は、緊急経済対策を決めたが肝心の具体策と実行は次期政権に委ねられる。
政治の力学や思惑の渦中に巻き込まれ、腰砕けにならないよう切望する。

☆わが町の新年度は、新総合計画の基本目標「扇状地にひと・くらし輝くまち入善」の実現に向けスタートした。
☆下水道事業は、当初計画より早く進捗率25%に達した。町民の理解と協力があつたからであり、一日も早い全面供用開始を期待する。

☆海洋深層水の取水施設が今秋、完成する予定である。限らない可能性を秘めた深層水を新たな町民の「資源」として、アピール活用を促進し新世紀の「まらぶくり」の幕開けを期待したい。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本多 幸男
- 副委員長 元島 正隆
- 委員 大橋美椰子
- 委員 谷口 一男
- 委員 板川 清治
- 委員 九里 郁子